

令和7年度 地域学校協働活動推進のための研修

令和7年6月6日(金)10:30～15:00 県総合社会教育センター 受講者35名

1 内容

【テーマ】「シン・社会教育で、地域と学校の持続可能&幸せな未来をつくろう」

【講師】 岩手県生涯学習振興協会 事務局長 ささき つとむ 氏

【経歴】

2000年から2年間岩手県教育委員会事務局社会教育課 県北青少年の家 社会教育主事、2002年からの6年間は、岩手県立生涯学習推進センター 社会教育主事として務め、その後、花巻教育事務所、中部教育事務所の主任社会教育主事、そして、岩手県立生涯学習推進センター 生涯学習部長などを歴任し、長年にわたって社会教育に関わっている。2022年からは、紫波町教育委員会事務局学校教育課CSコーディネーター、2023年からは、紫波町教育委員会事務局生涯学習課 社会教育指導員も兼務し、また、2020年からは、社会教育主事講習B 演習講師としての活動もしており、2023年より、岩手県生涯学習振興協会 事務局長も務めている。



【講義要旨】

- 「学校を核とした地域力強化プラン」の目的は、地域住民のつながりを強めることであり、学校を支援したり、子どもの育成に関わったりすることは、地域全体でこどもの成長を支える社会の実現のための手段です。
- 文部科学省は、社会教育の理念・学習手法による、学校を核とした持続可能&幸せな地域づくりを進めようとしています。
- コミュニティ・スクールを、地域の方と一緒に「社会に開かれた教育課程」をつくる場として、地域学校協働活動によって、どのように生きたら良いかを考え行動する人間を育てる環境づくりを進めます。
- 地域学校協働推進員に望まれる資質・能力とは、推進への熱意や識見を有し、深い関心と理解があること、また、関係者や学校の実情、教育方針への理解があることです。

2 受講者の感想

- ・本日の研修を通して、地域と学校が各々何をして、どう協力していくべきかを学ぶことができました。午後の演習では、地域学校協働活動の構築をしましたが、新しい事業ではなく、既存の事業でもいいのだということを体験することができ、充実した時間を過ごすことができました。
- ・講義の内容は、昨年よりさらにパワーアップしており、最後まで楽しく勉強できました。グループの演習も非常に深いところまで話し合うことができ、今後の参考になりました。
- ・演習は円滑に進み、あっという間に研修の時間が過ぎました。多くの方のアイデアが生まれたよい研修だったと感じました。